

## 年末年始に向けた職場における労働災害の撲滅に向け関係団体等に緊急要請を行いました。

山口労働基準監督署

山口署管内の全産業における、令和7年10月末現在での死傷災害の発生状況は、令和6年の同時期と比較して16件増加し、284件となりました。特に製造業で昨年同期と比較して12件増加の62件、建設業で9件増加の43件と増加傾向にあり極めて憂慮すべき事態となっております。

特に年末年始は大掃除や機械設備の保守点検・再稼働等の作業が多くなるほか、物流等の増加に伴う交通・荷役作業時の災害、積雪や凍結による転倒災害がより増加します。

また、多忙による焦りや疲労からミスやエラーが起こりやすくなる等、労働災害の増加が心配されるところです。

山口労働基準監督署（署長：梅本賢治）では、12月1日に関係団体等に年末年始に向けた職場における労働災害の撲滅に向けた緊急要請を関係団体に対して行いました。



（一社）山口県労働基準協会防府・山口支部への要請書交付場面

関係災害防止団体  
支部長 殿

山口労働基準監督署長

年末年始に向けた職場における労働災害の撲滅に向けた要請について

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

貴団体におかれましては、労働災害の防止について、平素より格別のご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、当署管内の全産業における、令和 7 年 10 月末現在での死傷災害の発生状況は、令和 6 年の同時期と比較して 16 件増加し、284 件となったところで、特に製造業で去年同期と比較して 12 件増加の 62 件、建設業で 9 件増加の 43 件と増加傾向にあり極めて憂慮する事態となっております。全産業の死傷災害を事故の型別でみると、転倒災害が全体の約 2 割を占め最も多く、製造業では、機械設備等のはさまれ・巻き込まれ災害、建設業では、脚立等の低い高さから墜落・転落災害が多くなっている状況にあります。特に年末年始は大掃除や機械設備の保守点検・再稼働等の作業が多くなるほか、物流等の増加に伴う交通・荷役作業時の災害、積雪や凍結による転倒の危険がより増加する。また、多忙による焦りや疲労からミスやエラーが起こりやすくなる等、労働災害の増加が心配されます。

つきましては、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという強い決意のもと、下記事項にご留意の上、貴団体の労働災害防止に向けた取組強化を図られるとともに、傘下会員事業場に対して、労働災害の撲滅及び労働災害全体の減少に向けた基本的な安全衛生活動の着実な実行・確認のための総点検を実施すること、関係事業場を含めて企業全体で原点に立ち返った安全衛生活動の強化を図っていただくことについて、ご周知、ご指導いただきますよう要請いたします。

記

- 1 経営トップによる死亡災害撲滅、労働災害防止にむけた決意表明により、関係者の意思統一及び安全意識の高揚を図ること
- 2 安全衛生パトロールの実施及び機械設備に係る総点検を実施すること
- 3 年末時期の大掃除等を契機とした 5 S 及び年始時期の作業再開時の安全確認の徹底を図ること
- 4 K Y（危険予知）活動を活用した非定常作業における労働災害防止対策を実施すること
- 5 転倒、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ災害防止や腰痛予防対策の徹底を実施すること